平成29年度第5回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナーにおける実例報告

在宅医療を共に支える「我ったぁ〜村」 〜自分らしく・おえる・ために〜 (生える・老える・終える)

宜野座村役場 健康福祉課 宜野座村地域包括支援センター

宜野座村の紹介

- 総人口: 5,984人

年少人口: 1,203 人(35%)

生産年齢人口: 3,426 人(42.4%)

65歳以上人口: 1,355 人(22.6%) 平成29年10月現在









★ 宜野座村の特性について

★ 在宅医療・介護連携事業の取り組みを 通してみえてきたこと

宜野座村の特性



- ・生活地区は6地区 ・小学校3校、中学校1校、高校1校
- ・地域包括支援センターは役場内に直営1ヶ所設置
- ・在宅療養支援病院(回復及び療養型)1ヶ所
- ・社協1ヶ所設置、介護保険関連事業所も増えつつあり
- ・村内に唯一の中規模商店あり(宜野座村のジャスコ!)

★サービスの提供者と利用者が地域住民だからこそ・・・



地域の繋がりが強く 親の事・子供の事・自分の事!

高齢者の生活実情と意向を実感!

子供達は仕事の都合で転出

子供達に迷惑を かけたくない

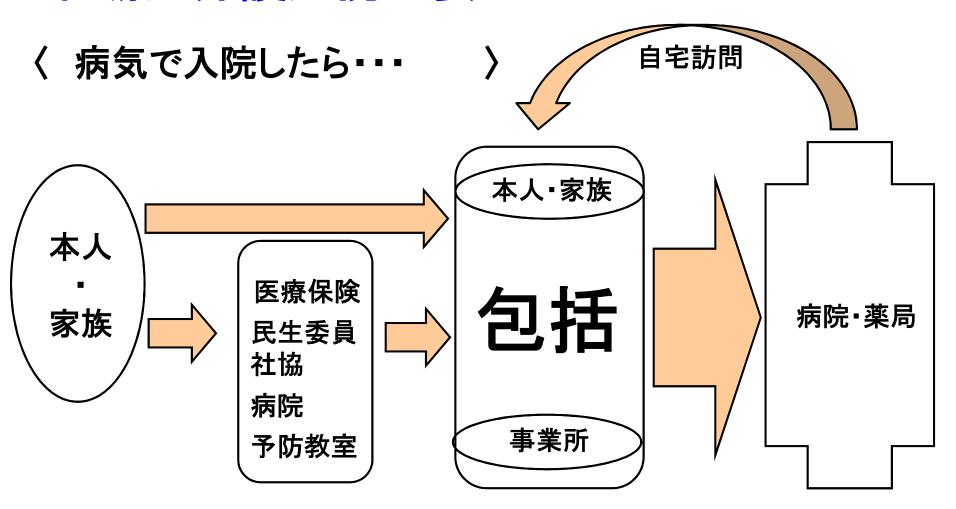
老後は宜野座に 戻って来たい

病気があるけど どうしよう 独居や 高齢者世帯の増加

村内にもっと病院があったらいいのに

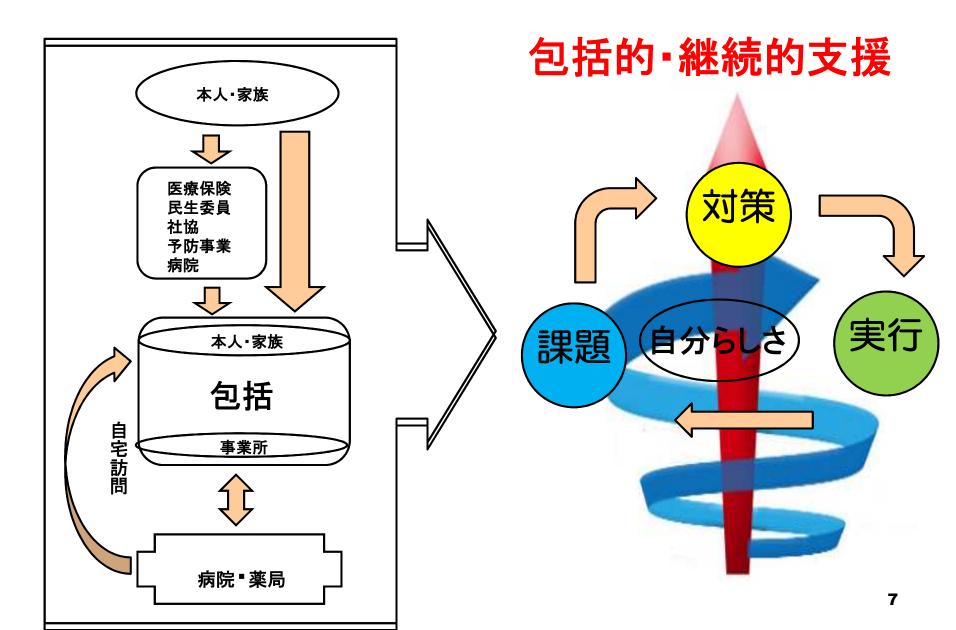
独りでも最後は やっぱり 宜野座がいい もし自分に 何かあったら すぐに発見される 様に居間で寝る

医療と介護連携の姿

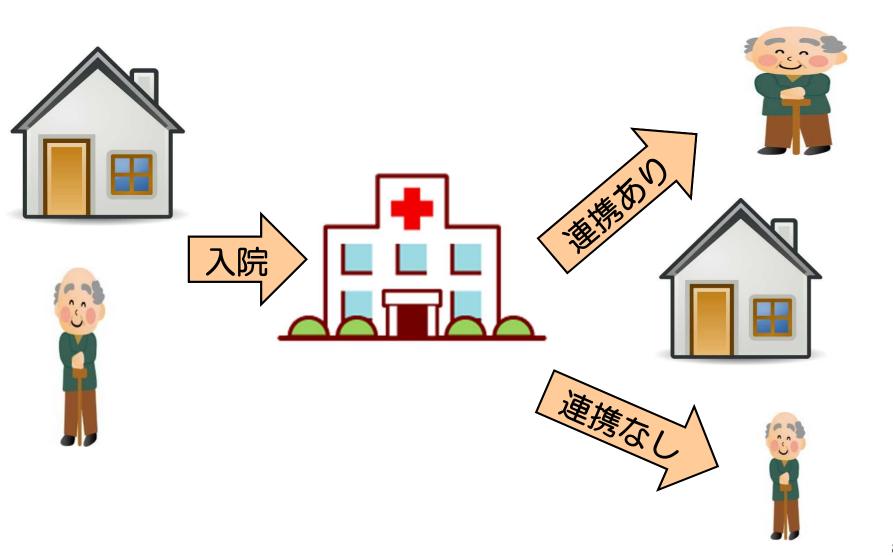


★本人・家族の意向を尊重しよう!

医療と介護連携の姿



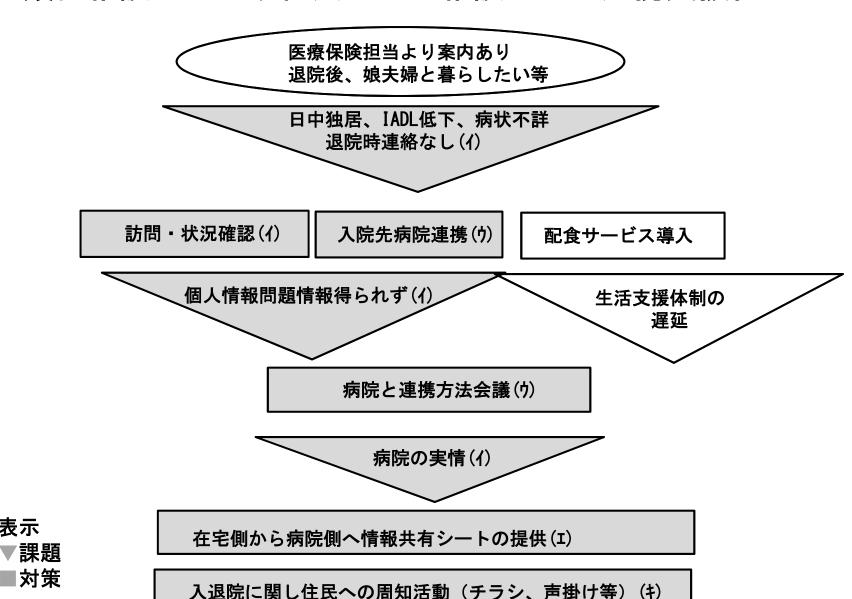
入院をきっかけに生活の場が・・・変化・・・



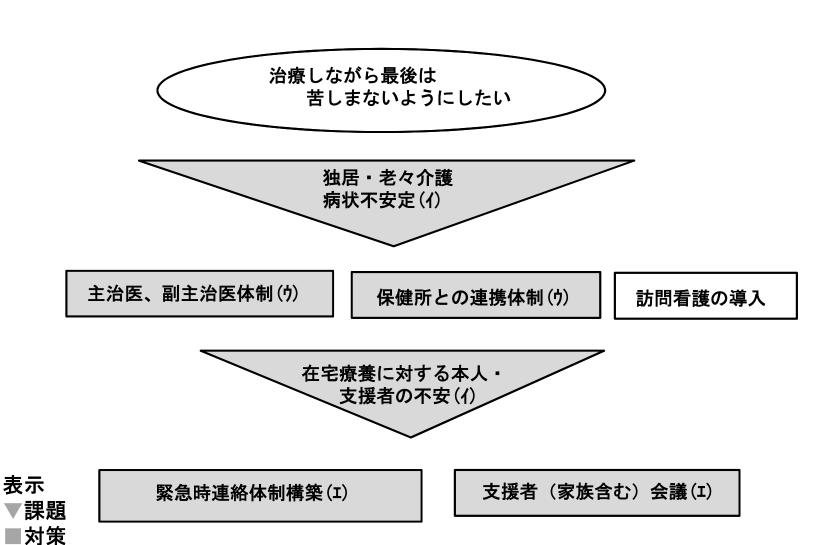
類似相談 1. 地域住民からの相談による連携支援。

表示

■対策



類似相談 2. 地域住民からの相談による連携支援。



類似相談 3. ケアマネジャーからの相談による連携支援。

主治医との連携が難しい スムーズな連携が必要! 病院側が利用者との同行受診を嫌がる 在宅支援が困難(イ) ケアマネ定例会にて課題抽出(ウ) ケアマネ個々人での対応では困難 病院側との話し合いが必要(イ) 病院と連携方法会議(ウ) 連携法にケアマネ個人差があり 病院側のルール周知不足?(イ)

表示

▼課題

■対策

ケアマネ定例会に病院側の参加(ウ)

病院別連携窓口一覧表作成中(I)



★これまでの連携支援を考えた時、 『PDCAサイクル』の視点がみえてきた。



〈個別型PDCAサイクル〉

最終的に自分らしさを 演出していく過程

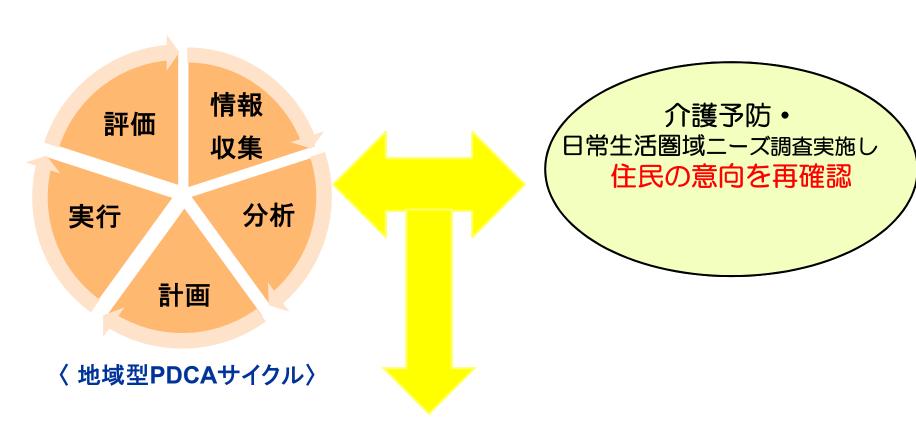


〈地域型PDCAサイクル〉

個別型から地域型へと進歩・発展途上

×

★地域の目指す姿を再確認!!



生活の質の向上に繋げる

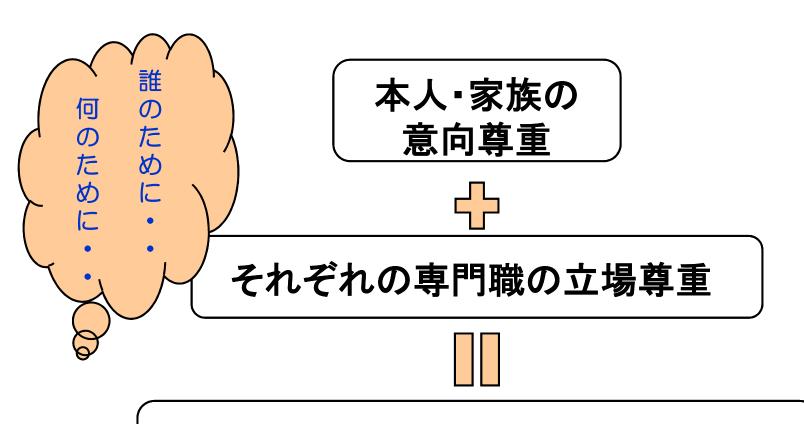
★これまでの連携支援を考えた時、 見えてきたものは他にも色々あった

これが独自の「印象付け名刺」!



まとめ

★ 医療側と介護側・・・目指す姿は1つ!



住み慣れた地域での安心した生活

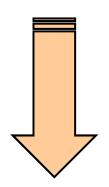
今後の課題

- 1. 地域住民(施設・病院を含む)に対し、それぞれの人生最終期の在り方を自ら発信できる普及啓発活動の実施
- 2. 地域人材の把握とそれを活用できる地域づくり
- 3. 次世代の担い手育成
- 4. 医療、介護分野におけるルール化の情報公開



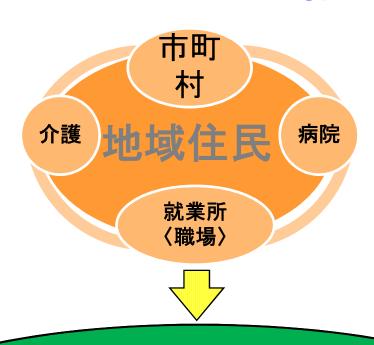
おわりに

~自分らしく生える・老える・終えるために~



在宅医療と介護連携を実のあるものとし…

宜野座村バージョン包括ケアシステム



地域の繋がりが強く、親の事・子供の事・自分の事!

市町村がバックアップ